

研究機関名：東北大学

受付番号：	2011-307
研究課題名	体表コイル使用の3TMRIにおけるT2WI、DWI、MRS、およびこれらを組み合わせた場合の前立腺癌の診断能
研究期間	西暦 2011年 10月（倫理委員会承認後）～ 2012年 12月
対象材料	<input checked="" type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 前立腺） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（MRI画像）
上記材料の採取期間	西暦 2007年 5月～ 2008年 12月
意義、目的	MRIにおける前立腺癌の検出率は、1.5TではT2WIのほか拡散強調像、MRスペクトロスコピーなどを組み合わせることで上昇することが報告されている。当院では前立腺癌の検出に3TMRIを用いており、上記各シーケンスを組み合わせることで診断能が上昇するかを検討する。
方法	過去にMRIを撮像しその後前立腺全摘術を行った患者29人について、2人の画像診断医が独立にMRIの再読影を行う。読影した結果と前立腺全摘標本のマップ像を照らし合わせ、localizationについての感度、特異度、正診度を計算し、診断能について検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口	022-717-7312 放射線科医局（大田英輝、阿部恵子）